

改めて地域・家庭の生活を考える機会に…

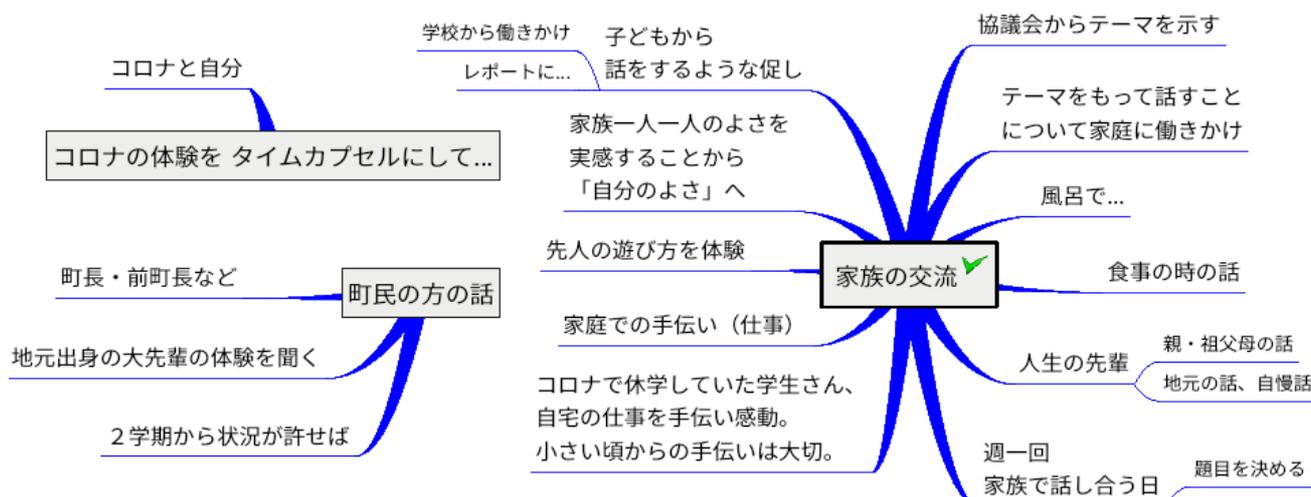
広尾小学校運営協議会長 足立 清洋
広尾小学校長 高橋 敏宏
広尾小学校PTA会長 齊藤 一也

学校運営協議会では、コロナ対応で様々なイベントが中止や延期になる中、そうした状況であっても、子どもたちが充実した生活を送れるようにするにはどうしたらよいか、という観点で話し合いました。

その結果、今後、長期にわたって家庭で過ごす時間が増えることが予想されることから、これまで以上に、**家族間の交流や対話**が重要になると結論付けました。そうした考えを家庭や地域の方々と共有したいと思います。

既に、多くのご家庭で取り組まれていることとは思いますが、学校運営協議会の意見や家族に関する学習内容などを掲載しましたので、参考にいただければ幸いです。

1 学校運営協議会で交流された意見



2 家族について考える授業「まる子の かぞくへの しつもん」

まる子 「おじいちゃん、どうして いつも げんきな の？」
 おじいちゃん 「まる子と まい日 さんぽを したり あそんだり して いると げんきが できるんじやよ。」
 まる子 「おばあちゃん、どうして いつも やさしい の？」
 おばあちゃん 「まる子 の ことが かわいくて しかたがないんだよ。」
 まる子 「おとうさんは、なにを して いる ときが すき？」
 おとうさん 「『 』」
 まる子 「おかあさん、どうして いつも にこにこして いる の？」
 おかあさん 「『 』」
 まる子 「おねえちゃん、いつもは まる子と なかよしなのに おこると こわいね。 どうして？」
 おねえちゃん 「『 』」
 ☆ おとうさん、おかあさん、おねえちゃんは なんと いった でしょう。

《2年道徳科教科書から抜粋》

3 子どもたちの声「家族との楽しい会話」

8月4日（火）「放課後読書等ふれあい広場」に参加した7人に聞きました。

旅行やキャンプ、ドライブなど、例年の半分しかない夏休みを前に、子どもたちの素直な心情が表れたように思います。

楽しい家族との会話	
旅行の思い出	スタンプラリー
これから行く旅行の話	祖父母の家に行ったこと
夏休みの旅行の話	預かった祖父母の猫のこと
宿泊学習のこと	飼っている犬の話
キャンプ	買った洋服の話
帯広に行く予定の話	新しい従業員が来る話
道の駅を回ったこと	映画の話

4 「家族の団らんやふれ合い」を学ぶ授業

(1) ほっとするのは、どのようなときだろう

わたしたちは、食事をしたり、仕事を共にする中で協力したり、話をしたりして周囲の人とふれ合っています。親しい人たちと集まって、楽しく時を過ごすことを、**団らん**といいます。**ふれ合い**や団らんの場をもつと、家族や周囲の人とのつながりを感じたり、温かい気持ちになったりします。家族といっしょにいてほっとするのは、どのようなときか、ふり返ってみましょう。

(2) 周囲の人との関わりを考えよう

わたしたちは、毎日の生活の中であいさつをしたりその日の出来事を周囲の人に話したりしてかかわっています。しかし、自分の思いがうまく伝わらなかったり、相手の思いに気付けないときもあったりします。ふれ合いや団らんを通して自分の思いを伝えたり、人とのつながりを深めたりするにはどうしたらよいかを考え、計画を立てて取り組みましょう。

(3) 団らんでつながりを深めよう

集まった人たちと楽しく過ごすために、あいさつや会話を工夫してみましょう。お茶を入れたり、かんたんな食べ物を作ったりして、用意し、みんなでいただくと、楽しくなごやかな時間を過ごすことができます。その他にもどのような工夫をするとよいか考えてみましょう。

《5, 6年家庭科の教科書から抜粋》

5 日本PTA全国協議会「楽しい子育て全国キャンペーン三行詩」

- ◇ お母さん ゲームのやりすぎ ダメっていうけれど
ケータイ見すぎ ぼくを見て (和歌山県 熊谷大侃)
- ◇ お日様の下でお父さんとトマトのお世話
トマトみたいに顔を赤くして『大きくなれ』と二人で見ている (岩手県 菅野奏良)
- ◇ 「おはよう」にかくれている きのう言えなかった「ごめんなさい」
「仲なおり」がかくれている みんなで食べる朝ごはん (新潟県 長吉風凜)
- ◇ わすれずに 家族の中でも
ありがとう (山口県 徳永莉子)
- ◇ 心を鬼にしてって
顔も鬼だよ！ お母さん (長崎県 中野颯亮)

《令和元年度小学生の部入賞作品から抜粋》